



《でんでんむしの生みの親》(令和2年夏季号)

# 中野孝之助通信

◎市政の課題を掘り起こし、解決に全力を尽くします!!

## ご挨拶

盛岡市議会議員の中野孝之助でございます。令和2年の暑い夏を迎え、いつもとは違う生活に、皆様いかがお過ごしでしょうか。

この春以来、全国的に新型コロナウイルス感染者が増加し、外出自粛など苦しい毎日を送り、耐え忍ぶ生活が続いてきました。しかし、そんな皆さんの努力の結果、緊急事態宣言は解除

されました。

良かったなとほっとしたのもつかの間、東京で、全国でまた感染者が増加に転じ、7月15日現在、全国で唯一感染者が確認されていない岩手県でも、夏のお祭りや催し物が中止になっています。

毎年お盆に集まる学校のクラス会も中止になり、残念な気持ちではありますが、ワクチンができるまで、治療薬ができるまで、ここはもうひと踏ん張りが必要なようです。

盛岡市は、国の新型コロナウイルス感染症対策の予算編成を受けて、速やかに皆様に支援の施策が届くように、臨時議会を毎月開催し、必要な予算を成立させ、対応を進めています。

私も、コロナに負けない盛岡市の持続的発展のために、今後とも全力を尽くしてまいり所存でございますので、皆様には引き続き変わらぬご指導を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

## 令和2年3月 市議会一般質問

### 質問項目

- ① 岩手医大新病院開業後の市内の医療サービスの状況について
- ② 新型コロナウイルス対策について
- ③ 交通政策について
- ④ 擬宝珠の保存について

### ① 岩手医大新病院開業後の市内の医療サービスの状況について

Q 岩手医大新病院開業後の市内の医療サービスの状況は。県立中央病院に患者が集まりすぎ、病院機能が一時麻痺する事態に陥っていると聞かいかか。

A 令和元年10月から令和2年1月までの、各病院の患者数の推移ですが、前年同期に比べ、県立中央病院が2.6%増加、市立病院が2.7%増加、岩手医大新病院と内丸メディカルセンターを合算して11.3%減少、夜間救急診療所は大きな変化なしとなっています。

また、県立中央病院では、消化器内科において一時入院患者が集中し、入院患者の請け入れを停止したことがあったと伺っています。

Q 特定病院への混雑偏在を緩和するためにはどのような対策が必要か。市はじめ関係医療機関はどのような対応策を行っているのか。

A 症状に応じ、適正な受診の徹底を図るため、盛岡保健医療圏の8市町で共通のポスターを作成し、市の広報や市医師会、盛岡薬剤師会の協力を得て、広く周知を図っています。

### ② 新型コロナウイルス対策について

Q 新型コロナウイルス感染症の発生により、盛岡医療圏の対応能力の限界を超えることを危惧するが、市の対応策と課題はどうか。

A 2月8日に盛岡市帰国者・接触者相談センターを市保健所に設置し、また盛岡市健康危機対策本部を立ち上げ、市役所全庁を挙げて取り組みを進めています。課題は、新型ウイルスの性状や病原性の知見が十分でないことや、有効な治療方法が確立されていないことが挙げられます。国から情報を収集し、市民への周知に努めてまいります。



自分を守り皆を守ろうの自宅看板

Q マスクや消毒薬の不足対策をどう考えているか。

A 現在、国から製造事業者の増産に向けた働きかけがなされ、生産体制を強化していると聞いています。

Q 市民が持つ、物資不足による心理的な不安感の払しょくのため、市は的確な情報を出していただきたいかがかか。

A 市民に正確な情報を提供し、理解していただくことが肝要と考えております。不要な社会不安を取り除くため、しっかり取り組んでまいります。

Q 市内で患者が発生した場合、市民への周知等をどのように実施するのか。

A 本市又は県内において感染者が発生した場合、国及び県から速やかに報道機関を通じて、公表されることになっています。本市においても、ホームページ等により、市民に速やかに周知することとしております。

### ③ 交通政策について

Q バスカードのICカード化への進捗状況はどうなっているか。課題は何か。

A 令和3年春から、岩手県交通、岩手県北バス共にJR東日本のシステムを使用した、地域連携ICカードのサービス導入開始を、計画していると伺っています。市では、ICカード開発状況やバス事業者の動向、他都市の状況など情報収集をおこなっています。導入には相当の経費を要すること、バス事業者が複数社あることから、財源確保及び事業者間の相互利用の確立などが課題ととらえております。

Q ICカード導入に伴う事業者への支援はどう考えているか。

A 国の補助事業の適用や、盛岡市地域公共交通網形成計画の取り組みとして、県の対応を注視しながら、市としての支援策を検討してまいります。

### ④ 擬宝珠の保存について

Q 昨今の100年に1度の大雨が、各地で降る状況を見る

につけ、上の橋、下の橋の擬宝珠が、洪水により流失することを危惧する。擬宝珠の保存をどう考えているのか。

A 上の橋、下の橋はコンクリート等の堅固な構造になっており、綱取ダムの治水機能などを考慮すると、大雨洪水による流失の可能性は低いと考えています。

Q 前にも擬宝珠の保存について質問したが、その後の検討状況はいかがか。

A 擬宝珠のレプリカを橋に取りつけることについては、多額の費用が見込まれるほか、京都三条大橋でも実物が設置され、レプリカも作成されていないところです。

Q 重要美術品の擬宝珠が、18個も残っているのは全国で盛岡だけです。京都は、洪水でまた戦乱で失われた結果、わずかに数点しか残っていないと伺っています。万が一を考え残す工夫をするべきではないか。失われたものは戻らないのが美術品です。

A 費用の面からかなり難しい。内部でも様々な議論はしている。引き続き関係部署と協議し検討してまいります。

## 令和元年12月 市議会議案質疑

### アフリカ豚コレラについて

昨年12月の市議会議案質疑において、アフリカ豚コレラについて質問しました。

これまでの豚コレラの発生経過や対処についてはもちろん、新たな感染症であるアフリカ豚コレラに関する国内での対処方法を確認しました。

### 活動報告

#### 議員勉強会 2020.2.20

盛岡市議会盛友会の二期、三期目の議員6人で、定期的に勉強会を開催しています。

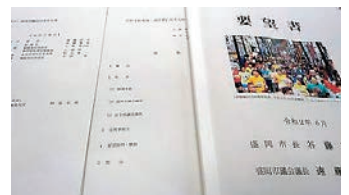
今回は、「人口減少下における都市計画」と題して、市の都市整備部から、現状とこれからの都市整備の方向性や課題をお話いただき、意見交換を行いました。

初めて経験する人口減少社会において、街中に空き家が増えて行き、人口密度の低い都市が形成されて行く、いわゆる都市のスポンジ化が進む予測を伺いました。



長の公務として、出席いたしました。

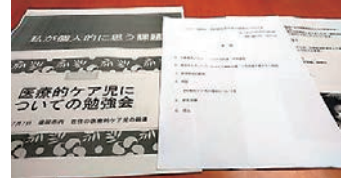
要望事項を盛岡市から説明し、県議会議員側から、質問を受け課題を確認し、意見交換するものです。



#### 医療的ケア児の現状について 2020.07.07

盛岡市議会盛友会二期、三期議員の勉強会『二三の会』を開催し、医療的ケア児の現状について、お子さんをお持ちのお母さん方から、直接お話を伺いました。

この問題は、引き続き行政側からの聞き取り調査を行い、盛岡市として出来ること、やらなければならないことを整理してまいります。



#### 令和3年度県、国予算に対する統一要望説明会 2020.6.8

盛岡選挙区選出の岩手県議会議員に対して、令和3年度の県、国への統一要望内容の説明会が開催されました。

私は盛岡市議会総務常任委員



中野孝之助事務所 盛岡市仙北2丁目11-33 (自宅)

電話 019-636-3181 Fax 019-636-0541 携帯 090-7063-6724 HP <http://nakano-kounosuke.com/>

皆様のお声をお聞かせ下さい

この広報は政務活動費により作成しています。

